

いろいろな人たちのチカラで支える消防団

消防団は、その地域に住んでいる人・働いている人によって構成されている市町村の消防組織です。全国で約89万人いる団員の一人一人が、それぞれ仕事をもちながら活動しています。

◎消防団の活動

消防団員は普段、自分の仕事をしています。その合間を見て、いざという時のために備えて、装備品の確認や訓練をしています。

また、火事が発生すると、消防署と一体となり、主に後方支援という大切な役割を担います。台風などの災害時も、水害などから町民を守るため、冠水道路の水のくみ出しや救助活動などを行っています。



◎消防団と消防署の違い

常勤の地方公務員として勤務する消防職員と異なり、消防団員は普段は生業を持ちながら、災害時には自宅や職場



日常

災害時

防火ポスター展の結果

春の全国火災予防運動の一環として、山武郡内各小学校の4年生から6年生を対象に開催された「第29回防火ポスター展」で、次の方々が入賞しました（敬称略）。

▶最優秀賞

荻野 千尋（白里小6年）

▶優秀賞

- 小林 愛（季美の森小6年） 押田千菜実（季美の森小5年）
- 板倉 裕（季美の森小4年） 根本 美空（瑞穂小6年）
- 疋田 稜馬（瑞穂小5年） 三輪 彩果（瑞穂小4年）
- 祐川みどり（大網小6年） 中村 康暉（大網小5年）
- 鈴木 爽陽（大網小4年） 有吉 似季（大網東小6年）
- 大出 菜穂（大網東小5年） 三枝 弓月（大網東小4年）
- 水間 咲（増穂小6年） 早坂 元稀（増穂小5年）
- 岩垂 龍紀（増穂小4年） 栗原 礼奈（増穂北小6年）
- 木村 心矩（増穂北小5年） 林 純菜（増穂北小4年）
- 細野 未生（白里小6年） 内山 敬博（白里小5年）
- 新妻 歩実（白里小4年）

※入賞者の作品は3月12日(金)まで、役場庁舎1階ロビーにて展示しています

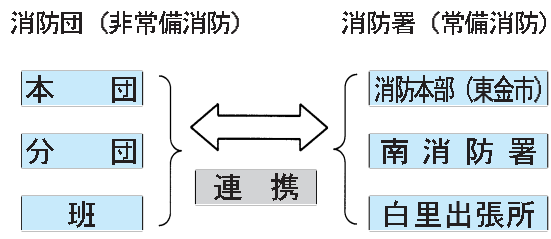
◎女性消防団員の活躍

仕事をしている女性から主婦や学生まで、地域に密着している女性だからこそ発揮できる能力があります。

消防団（非常備消防）には、消防車が27台（ポンプ車13台、小型13台、軽車両1

台）配備されており、火災災害の発生地区により、出動態勢が決められています。

本町の消防団と消防署の関係



◎本町の消防の現状

消防署（常備消防）は、大網地区に南消防署、白里地区に南消防署の出先機関である白里出張所があり、それぞれ消防車1台、救急車1台が配備されています。

◎消防団員を募集

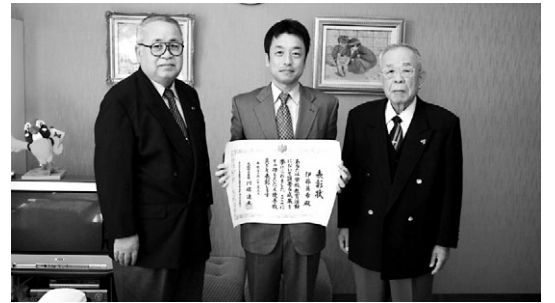
消防団員を広く募集します。年代の違う仲間たちと知り合い、共に同じことに取り組むことで、大きな社会経験を積むことができます。

表

彰

●平成21年度文部科学大臣優秀教員表彰

白里小学校教員の伊藤英希氏が1月25日、学校教育における教育実践等に顕著な成果をあげた教員として、文部科学大臣より表彰されました。



▲町長・教育長に受賞を報告する伊藤英希氏（中央）

栄養士だより 93

ヘルシー講座の参加者を募集

健康づくりに役立つ内容を、全10回のコースで楽しく学習しませんか。各回の担当は町ホームページをご覧ください。

▶募集人数=36人 ▶受講料=1,000円

ヘルシー講座日程表（全10回）

開催日	場所・時間	学習内容
4月22日(木)	保健文化センター 10時	開講式、健康介護課の業務紹介
5月26日(水)	中央公民館 9時30分	メタボリック症候群と生活習慣病について、血圧測定、調理実習・肥満が気になる人の食事、生活習慣病予防メニュー
6月30日(水)	保健文化センター 13時30分	分かりやすい歯の話、正しいブラッシング方法について
7月29日(木)	中央公民館 9時30分	郷土料理にチャレンジ 調理実習（丸巻き寿司ほか）
8月25日(水)	中央公民館 9時30分	食中毒予防と食品表示について 調理実習（夏野菜を使ったメニュー）
9月15日(水)	中央公民館 9時30分	町の健康状況 がん予防について、年代別食育と食事バランスガイドについて、調理実習（簡単バランスメニュー）
10月20日(水)	中央公民館 9時30分	介護予防講習、調理実習（高齢者の低栄養予防メニュー）
11月25日(木)	大網白里アリーナ 9時30分	気軽に行える健康体操、体脂肪測定
12月15日(水)	中央公民館 9時30分	日常生活に役立つ救急法 調理実習（カルシウムたっぷりメニュー）
1月27日(木)	保健文化センター 10時	閉講式、修了証書授与、反省会

* 日程は変更する場合もあります

団・圃健康介護課健康指導班 ☎ (72) 8321

保健師だより

～健康カレンダーが変わります～

①保健事業ガイドを配布

これまで健診や予防接種など、町の保健事業については健康カレンダーに掲載していましたが、さまざまな年代の方々から意見をいただき、平成22年度から「保健事業ガイド」でお知らせすることになりました。

「保健事業ガイド」には、4月から翌年3月に行う保健事業の日程や申し込み方法を予防接種、母子保健、成人・老人保健に分けて掲載しています。3月中に回覧板で配布します。また、3月23日以降、役場受付・保健文化センター・中部コミュニティセンター・白里出張所・農村環境改善センターいずみの里でも配布します。

1年間大切に保存して、各種事業の日程確認に役立ててください。

②マタニティマークをご存じですか

妊娠中は赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するためにとっても大切な時期です。そこで「妊産婦に優しい環境づくり」を推進するために、マタニティマークが考案されました。

妊娠中の方からは、「階段の上り下りやバスや電車で立っているのが大変」という声や、「周囲の人が吸っているたばこの煙が辛い」という声が聞かれます。マタニティマークを付けている方を見かけたら、電車やバスで席を譲ったり乗降時には協力したりする、近くでの喫煙は控えるなど、思いやりのある行動をお願いします。

町では、母子手帳交付時にマタニティマークキーホルダーを配布しています。マタニティマークは厚生労働省のホームページから、ダウンロードできますので、キーホルダーとあわせて活用してください。

▶厚生労働省ホームページ

URL <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/03/h0301-1.html>



圃健康介護課健康指導班 ☎ (72) 8321